

気づきの向こう側

令和7年 2月14日(金)
自問清掃通信 第7号

3年生の先輩からのメッセージを聞き、1、2年生のみなさんは何を考えましたか。今回の「気づきの向こう側」では、3年生のメッセージを改めて掲載します。

3A

自問清掃でも日常生活でも、「嫌だな」や「やれと言われたからやるか」など、マイナスの気持ちをもって取り組んでいたら、まったく意味のないものになります。どれだけ床を拭いてもほうきでほこりをはらっても、掃除をするという形だけでは、内面は何も変化しません。勉強でも同じで、マイナスの気持ちで臨んだら、紙にはやったことが残っていても、頭には入ってきません。大切なのは目標をもち、プラスの気持ちで取り組むことです。今日は根氣玉を磨くために、床をとことん磨こうと考えるなど、目標をもつとやるべきことが明確になります。さらに、目標を達成することでモチベーションのアップにもつながります。1、2年生のみなさんは、ぜひ目標をもって取り組んでみてください。

僕が自問清掃をやり続けてよかったと思える点は2つあります。1つ目は、集中力が向上するという点です。勉強や読書などのさまざまな活動で、どの場面でも集中して全力で取り組めることはとても良いことだと思います。2つ目は、周りを見る目が広がるという点です。清掃中、しゃべることなく他者と協力して清掃活動を行うには、周りに目を向け、誰が何をしたいか考える必要があります。これを日常生活に応用すると、自分だけでなく周りの人の気持ちを汲んで行動できるようになります。このように真剣に取り組めれば、得られるものが必ずあります。これを機に、あなたも集中力があがり、周りに目を向けられる人を目指しませんか。

3B

自問清掃での15分間、自分の心と向き合い、自分の気持ちを見つめることで、心を整えることができました。また、自問清掃を通して3つの力を身に付けることができました。1つ目は集中力です。15分間ずっと集中することは、難しかったのですが、毎日積み重ねることによって、身に付けることができました。2つ目は、相手の気持ちを考える力です。学校生活は1人で送るものではありません。自問清掃の中で自分から考えて動くことで、協力する力が身に付きました。3つ目は気づく力です。細かなごみを見つけようとすることで、周りを見わたせる力が身に付きました。自問清掃での経験を生活に活かし、伝統を繋いでほしいです。

どんなことでも意味を見つけ出して自分の成長につなげることは、大事だと思います。その第一歩として、毎日の自問清掃からその意識をもつことが、自問清掃の意義なのではないかと思いました。それによって、普段の生活、勉強、部活動でも自分を見つめて自分の成長を促すような意識が芽生えていったら自問清掃を3年間続けてきた価値が生まれると思います。私は中学校を卒業してからも、日々の活動に自問しながら自分の成長を促したいです。

3C

私はこの3年間の自問清掃を通して、たくさんのことを学ぶことができました。1番の学びは、周りをよく見ることです。親切玉を磨こうと思ったとき、周りの動きを見なければ、気づくことができず、仲間を手助けすることができません。よく周りを見て清掃ををはじめてからは、清掃以外のときでも気づいて手を差し伸べられる機会が増えました。これから自問清掃をしていく中で、めんどくさいとか、やりたくないと思うことがあると思います。しかし、私はそう思ったときこそ、3つの玉を更に磨き、自分をレベルアップさせるチャンスだと思っています。もし、やりたくないなという思いが出てきたときには、自問清掃を通して自分が学んできたことを思い出してください。そして、弥北の伝統をつないでいてください。

自問清掃は3つの玉を磨くことが本質ではないと思います。漢字の通り、自分に問いかけて清掃するのが、一番求められていることだと思います。しかし、3つの玉は磨かないと自分自身に問う内容があいまいになってしまいます。つまり、3つの玉を意識して磨くのは、自問清掃をするための秘訣と捉えた方がよいのです。また、自問清掃は将来にも役立つと言われています。しかし、何が将来に未来に役立つかはすぐにはわかりません。だから、それについて、自問清掃を行っている間、強く問いかけるのがよいでしょう。問いかけ続けることで何が役に立つか見えてくるはずです。自問清掃は、他校にはない伝統であり、自分たちの将来を強く支えてくれるものとなります。がんばってください。

3D

「自問清掃」において清掃はさほど重要ではありません。だからといって、清掃をおろそかにすれば、「清掃」の役割が果たせなくなるので、きちんと清掃はすべきです。「自問清掃」においてもっとも重要なのは、自分と向き合うことです。清掃を通じて、今日の自分と向き合い、良い点と反省点を見つけ出し、それらを清掃で意識する。それが自問清掃の本質です。3つの玉でさえ、あくまでも結果であり、無理に磨こうとするのではなく、自分の反省点を意識して清掃すれば、おのずと磨けるのです。そのことをしっかり頭に入れて「自問清掃」をすれば、3つの玉の力だけでなく、それ以上の何かも身につくでしょう。

私は自問清掃を3年間続けてきて、毎日の15分間の中で、めんどくさい、これやりたくない、そう思う時がありました。しかし、反対に自問清掃のおかげで自分自身が成長できたところもたくさんあります。1、2年生の頃は何も思わなかったり、軽い気持ちだったりしたものにも、卒業することを考えるとこうして思いが出てきます。今はまだ、ただの清掃ですが、いつかどこかで役に立つときが来ると思います。私はそれに気がつくのが遅かったので、今の1、2年生には早いうちにいろいろな考えや思いをもちながら、清掃を続けてほしいと思います。これからも自問清掃を後輩に繋げていってほしいです。